
誘拐地獄

☆イルカ☆

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

誘拐地獄

【Nコード】

N8830D

【作者名】

☆イルカ☆

【あらすじ】

ある、町の少年が誘拐される。犯人は何を目論んでいるのか……

.....

第1話：誘拐（前書き）

初めての投稿になります。☆イルカ☆です。まだ未熟な所もありますが、読んでいてください。

第1話：誘拐

俺は高山^{たかやま} 州都^{しゅうと}。

親がかなりの金持ち（自慢じゃないけどそうなんだもん。仕方ないじゃん）

親からは

「最近物騒だから、誘拐には気を付けなさい。」とめっちゃいわれた。学校の帰り。

「あの：すみません？ この辺に郵便局ってありますか？」

と革手袋を着けた男性が声をかけてきた。

「この道を右に…」

と俺が言う途中に、男性が声を発した。

「僕、道を言われてもわからないので、ついて行って貰ってもいいでしょうか。」と男性は訪ねた。

一瞬戸惑ったが、ついていくことにした。

（郵便局前）

「つきましたよ。」

「ありがとう。でも、そんなのどうだっていいんだ。君が車に乗ってくればね。」

と、不自然な笑みをした。

「まっ、まさか、誘拐？」と幼稚園児の様な声を出す。

「そのまさかだよ。」

その言葉で僕が聞いた言葉は最後だった。改ページ「うっ……うぐ……」

暗い部屋。

辺りを見回すと監視役……であろう男がいた。

「目を覚ましたか。おゝい。聡^{さとし}！目を覚ましたぞ」と、監視役（？）の男が声を張り上げた。

突然現れた男が、顎を革手袋でなであげる。

「やめてっ！下も上もやりたいならやればいい！」

「おっと、そんなのが目的じゃないよ。でも、猿轡はかんどいてね。」

「うぐっ！んっんっ？」 猿轡はきつかった。

「その前に、お前の家の電話番号をかきだせ。」

020－8888－2540（これは適当に考えた番号であってか
けても繋がらないと思います）

「書きました。」

「じゃあ猿轡を噛んで。」

「緊縛もしましょうよ。」

改ページ「うっ……うぐ……」

暗い部屋。

辺りを見回すと監視役……であろう男がいた。

「目を覚ましたか。おゝい。聡！^{さとし}目を覚ましたぞ」

と、監視役（？）の男が声を張り上げた。

突然現れた男が、顎を革手袋でなであげる。

「やめてっ！下も上もやりたいならやればいい！」

「おっと、そんなのが目的じゃないよ。でも、猿轡はかんどいてね。」

「うぐっ！んっんっ？」 猿轡はきつかった。

「その前に、お前の家の電話番号をかきだせ。」

020－8888－2540（これは適当に考えた番号であってか
けても繋がらないと思います）

「書きました。」

「じゃあ猿轡を噛んで。」

「緊縛もしましょうよ。」

改ページ

第1話：誘拐（後書き）

連載が遅くなりましたらすいません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8830d/>

誘拐地獄

2010年10月12日14時42分発行